

第2回 海のアバターの社会実装を進める会 実施報告書



公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
一般社団法人電子情報技術産業協会

第 2 回 海のアバターの社会実装を進める会 実施概要

● 開催趣旨

現在、日本の海洋産業は海運・造船・漁業のみであり、その事業規模は右肩下がりである。また、それらに用いられている技術は従来のものがほとんどであり、新たな技術による新たな海洋産業の創出は事業化の一手手前で足踏み状態が続いている。

新たな技術の一つである水中ロボットは、海や水域の環境調査・対策などの新しい海洋産業の創出の大きなポテンシャルを秘めている。しかし、国内需要が低いことから水中ロボットの教育や国民理解が進んでいないのが現状である。

そこで、日本国内に水中ロボットの存在をアピールし、潜在的利用者に対して水中ロボットの有効性を示し、また将来の海洋産業の担い手である学生に水中ロボットへの興味を促すような機会を設けるため、国内のロボット関係者によるセミナー、デモンストレーション、ロボコンなどのイベントを集中的に行うイベントである「海のアバターの社会実装を進める会」を実施した。

なお今回のイベントは水中ロボコン 2020 実行委員会が主催する「水中ロボコン 2020」と同時開催し、相互に中継等を行った。また、アジア最大級の規模を誇る IT・エレクトロニクスの国際展示会である「CEATEC」と連携し、ライブ配信を行った。

● 実施概要

2020年12月4日(金) 13:00~17:00

於：福島ロボットテストフィールド カンファレンスホール

- 特別シンポジウム『ロボット×海×人 - 最先端ロボットがもたらす新たな産業・新たな暮らし-』

2020年12月5日(土) 10:10~16:00

於：福島ロボットテストフィールド 屋内水槽試験棟

- 開会式
- ROV デモンストレーション
- ROV 操縦体験
- 協賛企業による紹介・デモンストレーション

2020年12月6日(日) 10:00~15:00

於：福島ロボットテストフィールド 屋内水槽試験棟

- ROV デモンストレーション
- ROV 操縦体験
- ペイロード搭載 ROV 航行試験
- 水流発生時の ROV 航行試験
- ROV 遠隔操縦デモンストレーション
- 閉会式

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全てのイベントを Zoom ウェビナーで配信

- 主催
公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
- 後援
国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）
特定非営利活動法人日本水中ロボネット
IEICE（通信ソサイエティ）水中無線技術特別研究専門委員会
ALAN（Aqua Local Area Network）コンソーシアム
- 協賛
広和株式会社、コスモス商事株式会社、株式会社スペースワン、ミサゴ株式会社
- 運営
一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
- 参加者
 - 12月4日（金）：59名
一般…59名（現地8名、オンライン51名）
 - 12月5日（土）：54名
一般…38名（現地17名、オンライン21名）
いわき海星高校…8名（現地）
原町高校…8名（現地）
 - 12月6日（日）：24名
一般…24名（現地11名、オンライン13名）
 - 計：137名（延べ人数）
- <参考> CEATEC における視聴回数（12月17日時点）
 - 12月4日（金）：235回
 - 12月5日（土）：202回
 - 12月6日（日）：95回
- 本事業の Web サイト
<https://marinetech.jimdosite.com/>
- 同時開催：水中ロボットコンベンション in JAMSTEC 2020 ～海と日本プロジェクト～
<http://uwr.sakura.ne.jp/jam20/>

各日程の実施内容

【12月4日（金）】

特別シンポジウム

『ロボット×海×人 -最先端ロボットがもたらす新たな産業・新たな暮らし-』

（於：福島ロボットテストフィールド カンファレンスホール）

● 趣旨

「海のアバターの社会実装を進める会」は、海洋産業を中心としてロボットの活用を加速度的に推進するために、ロボットの国民理解を深めることを目的として開催。本シンポジウムはその導入として、ロボットビジネスの最先端を担う企業・研究者が一同に介し、最先端ロボットの動向を紹介するとともに、その展望について語る場として実施した。

● プログラム

13:00-13:10	開会挨拶 福島ロボットテストフィールド 副所長 秋本 修 氏
13:10-13:40	講演 1 福島ロボットテストフィールドの紹介と水中ロボットへの期待 福島ロボットテストフィールド 副所長 秋本 修 氏
13:40-14:10	講演 2 海洋エネルギー関連産業のクラスター形成を目指して 長崎県産業労働部 参事監（大学連携推進担当） 兼 長崎大学研究開発推進機構機構長特別補佐（非常勤）森田 孝明 氏
14:10-14:40	講演 3 世界の水中ドローンメーカーのご紹介 株式会社スペースワン 代表取締役 小林 康宏 氏
14:40-14:50	休憩
14:50-15:40	基調講演 アバターロボットがもたらす新たな暮らし avatarin 株式会社 代表取締役 CEO 深堀 昂 氏
15:40-16:10	講演 4 ロボティクス技術を活用した海洋産業への取り組み ヤンマーホールディングス株式会社 中央研究所 上級指導職 高 裕一郎 氏
16:10-16:40	講演 5 陸・海・空のロボット教育の取り組み 子どもの理科離れをなくす会 代表 北原 達正 氏
16:40-17:00	講演 6 海中産業の創出を目指す産業界の取り組み ALAN コンソーシアム 代表 島田 雄史 氏
17:00	閉会

主催：公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

企画・運営：国立研究開発法人海洋研究開発機構／一般社団法人電子情報技術産業協会

【12月5日（土）～6日（日）】

ROV デモンストレーション・操縦体験・遠隔操縦
 （於：福島ロボットテストフィールド 屋内水槽試験棟）

● 趣旨

潜在的利用者に対して水中ロボットの有効性を示し、また将来の海洋産業の担い手である学生に水中ロボットへの興味を促すため、ROV のデモンストレーションや操縦体験等を実施した。デモンストレーションの中では、実利用を想定したペイロード搭載航行試験や水流発生時の航行試験を通じ ROV の現状を示すとともに、離れた場所の ROV 遠隔操縦デモンストレーションを通じ ROV の可能性についても広く発信を行った。

● プログラム

12月5日（土）

10:10	開会挨拶 福島ロボットテストフィールド 技術部 技術企画課 課長 持田 佳広 氏
10:30-12:00	ROV デモンストレーション（出展各社エリアにて参加者向けデモンストレーションを実施） 広和株式会社、コスモス商事株式会社、株式会社スペースワン
13:00-15:00	ROV デモンストレーション（出展各社によるプレゼンテーション／デモンストレーション） 広和株式会社、コスモス商事株式会社、株式会社スペースワン、ミサゴ株式会社 海の将来に関するプレゼンテーション（大学生による海の将来像プレゼンテーション） 日本女子大学 横山 由果 氏、昭和女子大学 黒保 奈那 氏
15:00-16:00	ROV 操縦体験（学生を中心に、参加者が各社ロボットを操縦） 広和株式会社、コスモス商事株式会社、株式会社スペースワン、ミサゴ株式会社

12月6日（日）

10:00-12:00	ペイロード搭載 ROV 航行試験（ROV に浮力を付けた場合の航行試験） 広和株式会社（協力：ALAN コンソーシアム） 水流発生時航行試験（水流を発生させた状態での ROV 航行試験） 広和株式会社、コスモス商事株式会社、株式会社スペースワン
13:00-13:30	ROV 遠隔操縦デモンストレーション（横須賀水槽内の ROV を操縦） 国立研究開発法人海洋研究開発機構
14:45	閉会挨拶 福島ロボットテストフィールド 技術部 技術企画課 課長 持田 佳広 氏

当日の様子（記録写真）

- シンポジウム



- ROV デモンストレーション・操縦体験・遠隔操縦



メディア掲載

- INTERNET Watch (12/9 公開)
「水中 LAN」で海底や魚の 3D データを取得、ALAN コンソーシアムが研究開発を計画
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/event/1293759.html>
- INTERNET Watch (12/11 公開)
「水中ドローン」と「水中ロボット」は何が違う？ 世界の水中ドローンメーカーと福島ロボットテストフィールドを紹介
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/event/1293773.html>
- INTERNET Watch (12/22 公開)
水中ドローン/水中ロボットを操縦体験！ 福島ロボットテストフィールドの屋内水槽試験棟
「第 2 回 海のアバターの社会実装を進める会」ロボット実演会場レポート
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/event/1295890.html>

以上